析した結果についてのべる。
2-28. 構造材料の工業界への応用（その三）
細繊維補強（15）植村恒義
構成材料、構造工学、フィッシャー、繊維、構造工学等の分野の高速機器を高速度で用いたときにおける結果についてのべる。
2-29. 構造材料の工業界への応用（その四）
各種機械関係（15）植村恒義
捕獲の、時計、磁石の破壊等の高速度カメラによる解析結果についてのべる。

13.00～15.45

マイクロ波、固体物理、磁性
2-30. 磁場による磁気共鳴吸収（15）○柿内賢信、小松八郎、木大義
磁場による磁気共鳴吸収の物理的・化学的性質についてのべる。
2-31. α-FeO₃の磁気共鳴吸収について（15）熊谷明夫、大野和郎、○阿部英太郎
構造アントロポロジーの研究についてのべる。
2-32. 磁気クロームの常磁性共鳴吸収について（15）大野和郎
2-33. 電場冷却処理したPb(Ti-Sn)O₃固体の誘電異常（10）野村昭一郎、Pb(Ti-Sn)O₃を
電場処理し、その誘電率を電場及び温度による変化を調べることにより、前回報告した Pb(Ti-Sn)O₃の構造を明らかにする。
2-34. PbThO₃の研究（10）沢田正之、○田中寛
ペロヴィスクイト構造を持つ ABO₃型物質の研究において、Biイオンの役割を調べるに大きなThイオンを持つ PbThO₃の研究は興味がある。Pb(Ti-Th)O₃の研究も行いつつある。
2-35. バルミチンアミド結晶内の炭素酸の配置について（15）柳井敏雄
バルミチンアミドのX線結晶構造から、相若する分子が、基盤の長鎖化合物と進めてお互いに類似して配列している事を見出した。
2-36. 反射法による Ge の光学定数の測定（10）○石黒浩三、林経治
Ge 面での反射光の強さとその位相の測定よりマレー図表を用いて光学定数を決定する試み及び光学定数に対する強光照射の影響等を報告する。
2-37. 結晶粒界の電子顕微鏡観察（15）○田岡照男、高柳継一郎、Ni₃Mn 単結晶の面に
見られる結晶のモザイク粒界が転位の適当な配列であることを電子顕微鏡観察で示す。
2-38. Ni₃Mn 合金の規則格子相の電子顕微鏡観察（15）田岡照男、Ni₃Mn 合金の規則格子
生成の初期に電子顕微鏡によって規則格子の観察が出来た結果を報告する。規則格子の大きさは 500～1000A の短径 2500～5000A の長径の Alexander 系である。
2-39. Ni-Mn 系合金の磁性（15）田岡照男、○本多龍吉
Ni₃Mn 成分の近傍での Ni-Mn 合金について磁性、特に抗磁力と磁気異方性の規則格子との相関について，実験結果を述べる。
2-40. 混合溶液の研究（15）五弓勇雄、○阿部秀夫
ガラス含有量 6 乃至 7% の高ガラス溶液を、純溶液と混溶液を調製後、発泡面からガラスを拡散させて製造した。その磁気特性について発表する。
2-41. 逆ウインドパターン効果について（10）木村誠一、○木村哲雄
この効果の磁化特性は直列測定においても安定化法により観察することに注意し、交差測定による曲線と比較して磁化の機構を考察する。
2-42. 磁歪共鳴の測定（10）木村誠一、○能勢宏、桑島真
磁歪性体を用いた磁歪共鳴に於て、励起電圧に対する誘導電圧の振幅及び位相差を各観測位における観測結果、図上に示す同相が判明した。

第 3 日 10 月 9 日（土）

第 1 会場 9:00～11:30

高分子、生物学
1-39. 大腸菌ファージ T₃の超速心及酸沈殿による精製について（15）中村正好
大腸菌ファージ T₃ファージに関して、酸による不活化が著しく、その精製に酸沈殿法を用いることが不適当である結果を得た。